

R7 鳴門海峡の渦潮 国際シンポジウム企画（案）

世界遺産登録をめざしている鳴門海峡の渦潮。

これまで渦潮の形成過程や鳴門の特徴ある地形、渦潮と景観、渦潮と暮らしの関わり方など多くの研究を行ってきた。また、海外の渦潮の調査を行い、各国の渦潮の特徴や鳴門海峡の渦潮との類似点等を分析する共同研究も実施している。

大阪・関西万博の開催により世界から関西に注目が集まるこの機会に、国内外の関係者参加による渦潮を中心に人々と海との関わりに関する国際シンポジウムを開催する。

シンポジウムでは鳴門海峡の渦潮に関するこれまでの研究成果を踏まえた普遍的価値や海外の渦潮の状況を各関係者から発表するとともにユネスコ関係者より海の世界遺産の保護や持続可能な利用に関する記念講演を行う。

また、世界的に陸や海の効果的な保全が求められていることから、ユネスコ等の世界遺産関係者をお迎えし、世界遺産登録をめざす渦潮の魅力とともに海洋保全や海の適正利用についても考えるパネルディスカッションも開催する。

1 国際シンポジウム

日 時： 令和7年9月1日（月） 13:00pm ～ 16:30pm

場 所： ホテルニューアワジ プラザ淡路島 賀集の間
兵庫県南あわじ市阿万吹上 1433-2

テーマ： 渦潮から考える海と暮らしの未来

- スケジュール： ①両会長挨拶
- ②鳴門海峡の渦潮の普遍的価値
- ③鳴門海峡の渦潮世界遺産登録に向けた今後の取組の方向性
- ④海外事例紹介（ノルウェー・ノード大学、
スコットランド・スコットランド海洋科学協会）
- ⑤基調講演1 ユネスコ関係者
- ⑥基調講演2 IUCN 関係者
- ⑦基調講演3 ICOMOS 関係者
- 休憩
- ⑧パネルディスカッション「世界遺産と豊かな海」
（協議会学術委員、海外連携先関係者、ユネスコ等世界遺産関係者、
住民活動団体）
- ⑨鳴門海峡の渦潮を守り伝えるメッセージ

その他： シンポジウム終了後、意見交換会及び懇親会を開催

2 現地視察

日 時： 令和7年9月2日（火）

場 所： 大鳴門橋記念館、福良港 RIB ボートツアー、渦の道等鳴門海峡周辺を視察